

令和2年度

喜多方市立豊川小学校

学校経営・運営ビジョン

【学校経営の方針】 子どもの笑顔が輝く学校、信頼される学校づくりを進めます

- 1 子ども達の学力と「よさ」を伸ばすことに努めます
- 2 子ども達の豊かな心を育てることに努めます
- 3 子ども達の健康な体、「動ける体」づくりに努めます
- 4 いじめ、不登校等の防止に努めます
- 5 開かれた学校、安心・安全な学校づくりに努めます
- 6 保護者や地域との連携・協力を努めます

喜多方市教育委員会の重点事項

全ての子どもの「生きる力」を育む～

重点内容1 子ども資質・能力を育成する

- I 自己啓発力の育成
 - ◎ 人としてよりよく生きようとする意志や態度を身に付けた子ども
- II 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成
 - ◎ 知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を働かせ、主体的に解決出来る子ども
- III 勤労観、職業観及び職能の基礎的な資質・能力の育成
 - ◎ 地域や社会の発展に貢献できる資質を身に付けた子ども
- IV 共助・共働の態度及びコミュニケーション能力の育成
 - ◎ 住みよい社会づくりのために、互いのよさを認め合い高め合う資質を身に付けた子ども

重点内容2 教師の指導力を高める

重点内容3 安全で楽しく学ぶことができる環境整備

喜多方の3つの共通実践(最重要)

- ① 学ぶ意欲を高めるとともに「まどめ」を確実にに行い、学ぶ実感を高める
- ② 学級力を可視化し、教育力のある学級集団をつくる
- ③ 自己効力感を高める「なかたたくタイム」の実践

喜多方市人づくりの指針「なかよく たくましく 生きる」

- 人を思いやり敬います
- 「こんにちは」「どうぞ」「ありがとう」を言います
- 勉強に励み体を鍛えます
- 人として恥ずかしい行いをしません
- 喜多方を誇り社会に役立ちます

私たちはいじめ強い心を持って目標に向かってやりぬきます

【教育目標】 ～健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成～

○(心も体も)つよい子 ○(自然と友達に)やさしい子 ○(真剣に)まなぶ子

【めざす児童の姿】

	つよい子	やさしい子	まなぶ子
1年	めあてをもってがんばる子ども	ともだちとなかよくできる子ども	よくきき、はっきり話す子ども
2年	めあてをきめてがんばる子ども	だれとでもなかよくできる子ども	よく聞き、よく考える子ども
3年	めあてにむかってねばり強くがんばる子ども	友だちと助け合える子ども	めあてにむかって、進んで学習する子ども
4年	めあてにむかって最後までがんばる子ども	思いやりの心を持ち、助け合える子ども	自分でめあてを見つけ、進んで学習する子ども
5年	めあてにむかってあきらめずにがんばる子ども	相手の立場を考え、協力し合える子ども	自分でめあてを見つけ、自分の考えを持って学習する子ども
6年	めあてにむかって責任をもってやりぬく子ども	お互いのよさを認め合い、協力し合える子ども	自ら課題を見つけ、自分で考え進んで学習する子ども

めざす学校像

- 子どもにとって、学ぶ喜び、楽しさにあふれる学校
- 教師にとって、勤めてやりがいのある学校
- 保護者、地域にとって、信頼して任せられる学校

めざす教師像

- 子どもに寄り添い、認め、励まし、伸ばそうとする教師
- 指導力、専門性向上を目指し、日々研修、研鑽に励む教師
- 子どもや保護者等から信頼される教師(不祥事の絶無)

保護者の願い(学校評価アンケートより)

- 後片付けが出来るようになってほしい
- 将来の夢や目標を持つことが出来るようになってほしい
- 話をしっかりと聞くことが出来るようになってほしい

令和2年度 学校スローガン(児童行動・活動目標)

- あきらめない 助け合う 夢いっぱい豊かっ子

つよい子(健康や安全に気を付け、何事にもねばり強く励むことのできる児童の育成)

- (1) ねばり強く、やり抜く子どもの育成
 - ・ 自分の力を出し切る指導と場の設定
 - ・ 体力づくり等の計画的、継続的推進
- (2) きまりを守る子ども、生命を大切にすることのできる児童の育成
 - ・ 「豊川小のやくそく」「月のめあて」に係る指導
 - ・ 交通事故、学校事故の未然防止に向けた指導
 - ・ 日常的な安全指導、施設設備点検等の実施
- (3) 健康に関心を持ち、望ましい生活習慣を身につける子どもの育成
 - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と食育指導の推進
 - ・ むし歯罹患率、治癒率の向上、肥満率解消に向けた指導
 - ・ メディア等の適正、適度な利用についての指導(5つ約束)

やさしい子(豊かな感性をもち、思いやりや認め合うことのできる児童の育成)

- (1) 自尊心、自己肯定感が高い子どもの育成
 - ・ 子ども一人一人の「よさ」を大切に温かい雰囲気、学校づくり
 - ・ 自分を振り返ったり、友達の「よさ」を認めたりする機会の設定(「なかたたくタイム」)
 - ・ 豊かな人間性を育むための道徳教育の推進(考え、議論する道徳の授業等)
 - ・ 「いじめを出さない、許さない」という学校の雰囲気づくり
- (2) 社会性を身に付けた子どもの育成
 - ・ 異年齢集団の特性を活かした縦割り集団による活動
 - ・ あいさつ指導
 - ・ 3つの「あ」の実践(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)
- (3) 豊かな感性を持った子どもの育成
 - ・ 各種体験活動の充実と「農業科」の積極的な推進

まなぶ子(基礎・基本を身につけ、自分の考えを豊かに表現することのできる児童の育成)

- (1) 基礎基本、活用力を身に付けた子どもの育成
 - ・ 学ぶ楽しさを実感できる授業の展開(「授業スタンダード」の活用)
 - ・ 学びの心構え・基礎的学習習慣づくり(豊かっ子「学習のやくそく」)
 - ・ 子ども一人一人を伸ばす指導方法等の工夫(個別指導、TT等)
- (2) 表現力を身に付けた子どもの育成
 - ・ 授業等における言語活動の充実
 - ・ 学び合いを中心に据えた授業の充実
 - ・ 自分の思いや考えを発表する場の設定(「なかたたくタイム」、テーマ作文等)
- (3) 進んで考え、主体的に学習に取り組む子どもの育成
 - ・ 家庭学習の充実(「家庭学習スタンダード」の活用)
 - ・ 読書指導の推進(読書タイム、読み聞かせ、学校司書との連携を図った指導等)

学 び を 支 え る 環 境 づ くり

○ 保護者との連携・協力を図りながら、生活習慣・学習環境づくりを進めます

- ・ 家庭での生活習慣の定着(「早寝・早起き・朝ごはん」等)
- ・ 家庭での3つの「あ」の実践(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)
- ・ 家庭での読書活動の啓発
- ・ 「オフ・スクリーン」運動の推進 (5つの約束)
- ・ 家庭学習の習慣化(基準:学年×10分+10分)
- ・ 校舎内外の美化と安全確保、学習環境の整備(PTA活動等)

○ 「開かれた学校」づくりを進めます

- ・ 地域人材活用(農業科、生活科等)、学校評議員を中心としたコミュニティースクールの発想の実践
- ・ 学校評価の実施、結果公表と学校改善の推進
- ・ 学校情報等の発信(学校行事等の公開、授業参観、教育ポータルサイト、学校・学級だより、安全・安心メール、等)